

お取引時確認書

本書は、「犯罪による収益の移転防止に関する法律」等に基づくお取引時確認をさせていただくための書面です。

お手数ですが、以下の項目をご記入くださいますよう、お願い申し上げます。

申 込 者 (法 人)																								
名称	*住所 〒 - *社名																							
事業内容	<p>該当する事業内容にレ点を付けていただくとともに、下記の「事業内容の確認書類」の内、<u>いずれかをご提出ください。</u></p> <p><input type="checkbox"/>建設業 <input type="checkbox"/>その他()</p> <p>【 事業内容の確認書類 】</p> <p><input type="checkbox"/>登記事項証明書(発行から6ヶ月以内のもの)又はその写し</p> <p><input type="checkbox"/>定款又はその写し</p>																							
取引目的	<input checked="" type="checkbox"/> 融資取引																							
実質的支配者	<p>次のフローチャートにてご確認いただき、実質的支配者の方全員についてご記入ください。 ※資本多数決法人(株式会社・有限会社等)でない場合は確認の方法が異なりますので、ご相談ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <pre> graph TD A["①直接または間接※1に議決権の25%超を保有する個人がいる"] -- いる --> C["「実質的支配者」に該当します。"] A -- いない --> B["②出資、融資、取引その他の関係を通じて法人の事業活動に支配的な影響力を有する個人がいる(創業者など)"] B -- いる --> C B -- いない --> D["③法人の代表者"] D --> C C --> E["実質的支配者欄にご記入ください。"] </pre> </div> <p>※1 間接保有とは「議決権の50%超を保有する支配法人」を通じて保有していることをいいます。</p> <p>「実質的支配者」が外国PEPs※2又はその家族に該当する場合は、該当する具体的な内容についてご記入ください。なお、該当がない場合は、ご記入は不要です。</p> <p>【 実質的支配者ご記入欄 】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 30%;">フリガナ お名前</th> <th style="width: 15%;">生年月日</th> <th style="width: 30%;">ご住所</th> <th style="width: 15%;">外国PEPs又はその家族に 該当する場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p>※2 外国PEPs: 外国政府等において重要な公的地位にある方 (Politically Exposed Persons)。具体的には、外国の元首、外国の政府・中央銀行その他これらに類する機関において重要な公的地位にある方。(過去にその地位にあった方も含みます。)</p>				項目	フリガナ お名前	生年月日	ご住所	外国PEPs又はその家族に 該当する場合															
項目	フリガナ お名前	生年月日	ご住所	外国PEPs又はその家族に 該当する場合																				

お取引のご担当者(代表者等)

ご担当者様のお名前及び法人とのご関係をご記入いただくとともに、下記により書類をご提示ください。

*氏名

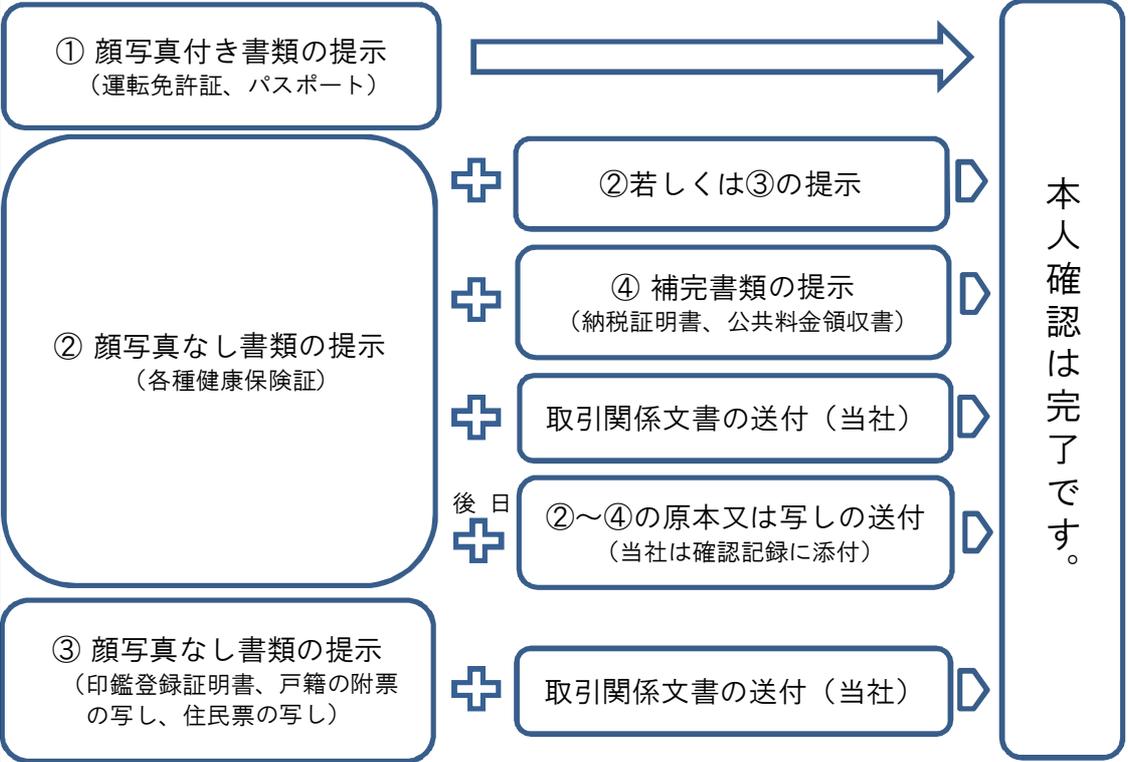
*法人とのご関係(該当項目にレ点を付けてください。)

代表者 従業員(ご所属: _____) その他(_____)

次のフローチャートにて、ご確認のうえ「本人確認書類①～④」をご提示ください。

【対面取引の場合】

お取引のご担当者様



【非対面取引(郵送等)の場合】

上記書類①～③の写し(現住所の記載があるもの**2点**。ただし住民票の写しの原本(発行から6ヵ月以内のもの)の場合は1点。)の送付を受け、お取引担当者様のご住所宛に「取引関係文書」をご送付いたします。

※ お取引のご担当者様のご住所が本人確認書類と異なる場合やご住所の表示がないときは、④補完書類等で現在のご住所をご確認させていただきます。

●KKS使用欄

確認者

【本人確認方法】

- 対面取引 (確認年月日: _____、時刻: _____、場所: _____)
- 非対面取引 → 取引関係文書の送付(年月日: _____)

【本人確認書類】

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 住民票の写し(原本) | <input type="checkbox"/> 住民票の写し・印鑑登録証明書・戸籍附票の写し |
| <input type="checkbox"/> 運転免許証・運転経歴証明書 | <input type="checkbox"/> 個人番号カード(マイナンバー記載の裏面不要) |
| <input type="checkbox"/> 健康保険証 | <input type="checkbox"/> その他 |
| <input type="checkbox"/> パスポート(現住所記入済のもの) | _____ |
| <input type="checkbox"/> 住民基本台帳カード(写真付き) | _____ |

ID: _____	確認	登録
-----------	----	----

保存期間:取引の行われた日から7年間

お取引のご担当者(代表者等)

ご担当者様のお名前及び法人とのご関係をご記入いただくとともに、下記により書類をご提示ください。

*氏名 建設 三郎

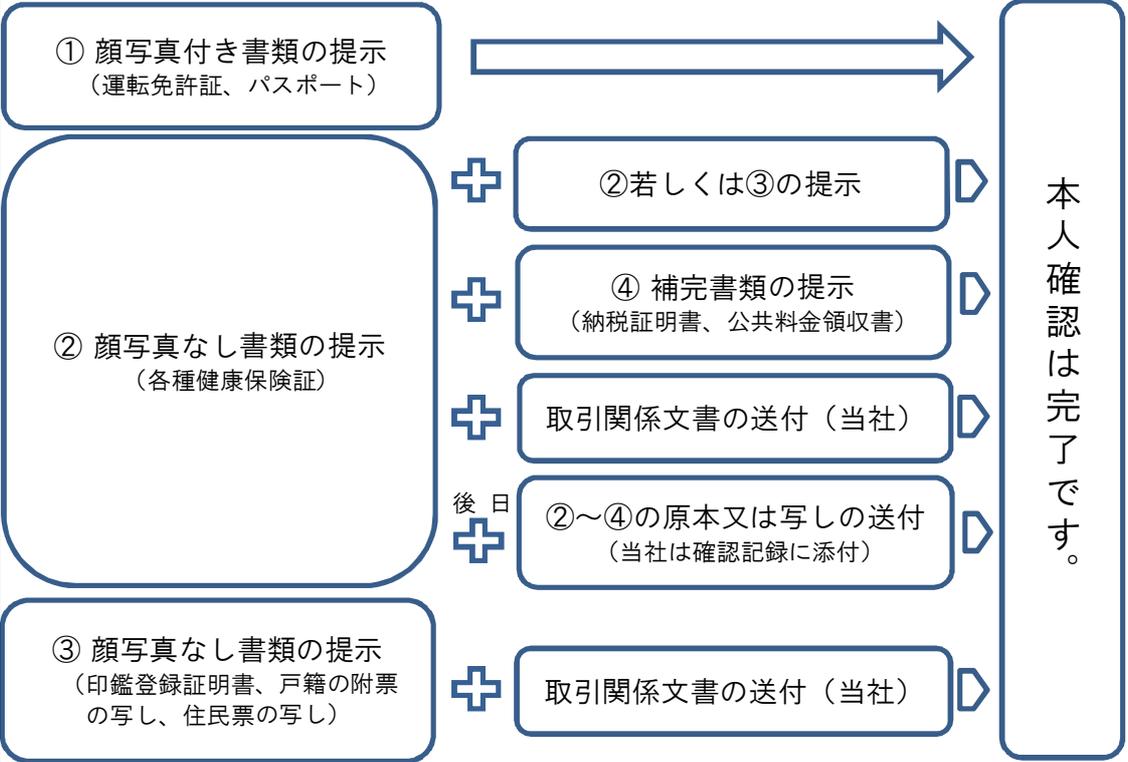
*法人とのご関係(該当項目にレ点を付けてください。)

代表者 従業員(ご所属:経理部) その他()

次のフローチャートにて、ご確認のうえ「本人確認書類①～④」をご提示ください。

【対面取引の場合】

お取引のご担当者様(代表者等)



【非対面取引(郵送等)の場合】

上記書類①～③の写し(現住所の記載があるもの**2点**。ただし住民票の写しの原本(発行から6ヵ月以内のもの)の場合は1点。)の送付を受け、お取引担当者様のご住所宛に「取引関係文書」をご送付いたします。

※ お取引のご担当者様のご住所が本人確認書類と異なる場合やご住所の表示がないときは、④補完書類等で現在のご住所をご確認させていただきます。

●KKS使用欄

確認者

【本人確認方法】

- 対面取引 (確認年月日: _____、時刻: _____、場所: _____)
- 非対面取引 → 取引関係文書の送付(年月日: _____)

【本人確認書類】

- 住民票の写し(原本) 住民票の写し・印鑑登録証明書・戸籍附票の写し
- 運転免許証・運転経歴証明書 個人番号カード(マイナンバー記載の裏面不要)
- 健康保険証 その他 _____
- パスポート(現住所記入済のもの) _____
- 住民基本台帳カード(写真付き) _____

ID: _____	確認	登録
-----------	----	----

保存期間:取引の行われた日から7年間